



R5.6.27

## 突然ですが・・・、「今日は子どもの話を聴きましたか？」

1933年生まれの人間行動学博士、能力・モチベーション開発の専門家であるデニス・ウェトリ  
ーは、「子どもの話を聴く大切さ」という詩を書いています。



子どもの話を聴く大切さ  
批判ばかりする親にならないように、おすすめします  
子どもの話に耳を傾けよう

今日、少し  
あなたの子どもが言おうとしていることに耳を傾けよう  
今日、聴いてあげよう あなたがどんなに忙しくても  
さもないと、いつか子どもはあなたの話を聴こうとしなくなる  
子どもの悩みや要求を聞いてあげよう (後略)

おうちの方は、いつも忙しいです。子どもの話を聴くことの大切さは分かっているけど、なかなか毎日  
はできないものですね。しかし、これを読むと、忙しくてかまっていられなかったことに気づき、子ど  
もに対して、もっと優しくなれるのではないのでしょうか。そこで、「子どもの話を聴く8つのポイント」が  
ありますので、時々思い出してそのいくつかを実践してみてください。

- ①子どもの話を真剣に聴く。
- ②目を見て体を向けて聴く。
- ③相づちを入れて反応する。
- ④最後までちゃんと聴く。
- ⑤絶対に否定しない。
- ⑥答えをすぐ言わない。
- ⑦子どもの言葉を繰り返す。
- ⑧どうしても聴けない時はちゃんと謝る。



さっそく今日、いくつか実践してみたいかがでしょうか。子どもは、話したいことがいっぱいです。  
「きょうね、きょうね・・・。」「ぼくね、ぼくね・・・。」「学校でね、・・・。」  
自分の話をして、相手に聴いてもらえる楽しさは、コミュニケーションの基本です。大切にしていきた  
いですね。

きりとり

スクールカウンセラー相談 希望書

6月30日(金)締め切り

7月4日(火)の相談を希望します。

(※必ず第3希望まで数字をご記入いただきますようご協力をお願いします。)

9:30~	10:30~	11:30~

年 組 児童名

保護者氏名